

充実した冬休みを・・・！！

今年の冬休みは、10日間です。短い期間ですが、充実した時間を過ごしてもらいたいと思います。その中で、自分の成長につながること（勉強や読書、家の手伝いなど）も必ず行きましょう。

下に「3人のレンガ職人」の話を載せます。参考にしてください。



世界中をまわっている旅人が、ある町外れの一本道を歩いていると、一人の男が道の脇で難しい顔をしてレンガを積んでいた。旅人はその男のそばに立ち止まって、「ここでいったい何をしているのですか？」と尋ねた。「何って、見ればわかるだろう。レンガ積みになっているだろ。朝から晩まで、俺はここでレンガを積まなきゃいけないのさ。あんた達にはわからないだろうけど、暑い日も寒い日も、風の強い日も、一日レンガ積みさ。腰は痛くなるし、手はこのとおり」男は自らのひび割れた汚れた両手を差し出して見せた。「なんで、こんなことばかりしなければならぬのか、まったくついてないね。もっと気楽にやっている奴らがいっぱいいるというのに・・・」旅人は、その男に慰めの言葉を残して、歩き続けた。

もう少し歩くと、一生懸命レンガを積んでいる別の男に出会った。先ほどの男のように、辛そうには見えなかった。旅人は尋ねた。「ここでいったい何をしているのですか？」「俺はね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これが俺の仕事でね。」「大変ですね。」旅人はいたわりの言葉をかけた。「なんてことはないよ。この仕事のおかげで俺は家族を養っていけるんだ。ここでは、家族を養っていく仕事を見つけるのが大変なんだ。俺なんて、ここでこうやって仕事があるから家族全員が食べいくことに困らない。大変だなんていってたら、バチがあたるよ」旅人は、男に励ましの言葉を残して、歩き続けた。

また、もう少し歩くと、別の男が生き生きと楽しそうにレンガを積んでいるのに出くわした。「ここでいったい何をしているのですか？」旅人は興味深く尋ねた。「ああ、俺達のことかい？俺たちは、歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ！」「大変ですね」旅人はいたわりの言葉をかけた。「とんでもない。ここで多くの人が祝福を受け、悲しみを払うんだぜ！素晴らしいだろう！」旅人は、その男にお礼の言葉を残して、また元気いっぱい歩き続けた。

1、2年生は部活動ややりたいこと、3年生は受験勉強が中心になるかもしれません。

しかし、どうせやるなら、目的意識を明確にして取り組んでいきたいものです。



★困ったことがあれば相談しよう★

中学生は、悩みの多い時期でもあります。悩むことが全ていけないわけではありません。相田みつを氏の詩にこんなものがあります。

つまづいたり ころんだらしたおかげで 物事を深く考えるようになりました
あやまちや失敗をくい返したおかげで 少しずつだが 人のやることを 暖かい眼で 見られるよう
になりました

でも、困ったときは一人で悩まずに相談してください。

「24時間子供 SOS ダイアル 0120-0-78310」

充実した冬休みを過ごし、元気な姿で再会しましょう！！